

令和 4 年度

朝日町予算説明書



山形県朝日町

～ 目 次 ～

◎令和4年度 一般会計予算の概要	2
◎主な新規・重点施策（一般会計）.....	3
◎ // （病院事業会計・水道事業会計、集落排水事業特別会計）	10
◎基本目標別主要施策・予算	11
1. 技・モノ・心が受け継がれ、人が集まるまち（産業経済）	12
（1）農業 （2）仕事の確保（商工業） （3）交流・観光	
2. ふるさとを愛し、みんなが学び合い、育て合うまち（教育文化）	14
（1）子育て （2）学校教育 （3）生涯学習（スポーツ・文化）	
3. いつまでも健康に暮らせる、思いやりあふれるまち（健康福祉）	16
（1）健康増進 （2）医療・福祉	
4. 豊かな自然を守り、安全で快適な住みよいまち（生活環境）	18
（1）住まい （2）交通 （3）環境 （4）防災	
5. 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで支え合うまち（地域づくり）	20
（1）地区づくり活動 （2）まちのにぎわい・元気づくり	
◆ 町民と行政が相互に信頼できるまち（まちの経営方針）	22
（1）町民と行政の協働 （2）行財政経営 （3）高度情報化・広聴	
◎予算・決算等資料	25

令和 4 年度 一般会計予算の概要

◎予算規模

56億 3,000万円

(令和 3 年度当初 52 億 7,000 万円、 比較増減 3 億 6,000 万円、 6.8%増)

【第 6 次朝日町総合発展計画を推進する 5 本の柱とまちの経営方針】

政策経費予算額
(単位：千円)
※() は前年度

1 技・モノ・心が受け継がれ、人が集まるまち【産業経済】

3 億 1,604 万円
(2 億 9,941 万円)

(1) 農業 (2) 仕事の確保 (商工業) (3) 交流・観光

2 ふるさとを愛し、みんなが学び合い、育て合うまち【教育文化】

6 億 3,189 万円
(5 億 6,050 万円)

(1) 子育て (2) 学校教育 (3) 生涯学習 (スポーツ・文化)

3 いつまでも健康に暮らせる、思いやりあふれるまち【健康福祉】

9 億 3,649 万円
(9 億 3,367 万円)

(1) 健康増進 (2) 医療・福祉

4 豊かな自然を守り、安全で快適な住みよいまち【生活環境】

7 億 7,824 万円
(6 億 6,127 万円)

(1) 住まい (2) 交通 (3) 環境 (4) 防災

5 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで支え合うまち【地域づくり】

4,870 万円
(5,327 万円)

(1) 地区づくり活動 (2) まちのにぎわい・元気づくり

◆ 町民と行政が相互に信頼できるまち【まちの経営方針】

3 億 969 万円
(2 億 3,441 万円)

(1) 町民と行政の協働 (2) 行財政経営 (3) 高度情報化・広聴

令和 4 年度 主な新規・重点施策

令和 4 年度の新規・重点施策の中から、
一般会計 14 事業、特別会計・企業会計 3 事業を紹介します。

財源についての説明

一 般 財 源……使途が限定されていない町の自由な財源です。

国・県補助金……特定の事業のため、国や県から交付されるお金です。

基 金……使い道ごとに積み立てている町の貯金からの取崩金です。

例：町有施設整備・管理基金（公共施設の整備、改修のために積立てた基金）

日本一りんごのふるさとづくり基金（ふるさと納税を財源にした基金）

町の借金(町債)……主に建設事業のため、国や民間の金融機関等から借入するお金です。

償還金(返済金)の一部が地方交付税に算入される制度を活用しています。

例：過疎対策事業債（過疎債） 償還金の 70%

辺地対策事業債（辺地債） 償還金の 80%

緊急防災・減債事業債 償還金の 70%

災害復旧事業債 償還金の 95%（※補助事業の場合）

役場庁舎・開発センター大規模改修事業 1,500万円

財源…町の負担1,500万円（町有施設整備・管理基金）

今後さらに20年使用するための長寿命化・省エネ改修を実施



【事業の概要】

昭和46年の竣工から50年が経過した役場庁舎・開発センターについて、今後さらに20年使用することを想定し、大規模改修を行います。

主な内容は建物の長寿命化工事のほか、空調、電気等設備面を中心とした省エネ改修など。令和4年度は設計のみとし、令和5年度から2カ年計画で工事を行います。「カーボンニュートラル」への関心が高まる中、町政の要である庁舎で先進的に「脱炭素化」を進めることで、こうした動きを広く波及させていきます。

（担当：総務課 財務係）

創遊館大規模改修事業 1億9,760万円

財源…町の借金1億5,000万円（過疎債）、町の負担4,760万円（町有施設整備・管理基金）

屋根防水、外壁・駐車場等修繕、ホール舞台装置更新の各工事を実施



【事業の概要】

創遊館は平成12年の完成から約20年が経過し、経年劣化による故障や傷みが各所に見られています。平成30年度から年次計画で改修を行っており、令和3年度までに空調、電気、および機械設備の改修を終えました。

令和4年度は、前年度に作成した設計をもとに、屋根の防水工事、外壁および駐車場等の修繕工事、さらにはホール舞台装置の更新工事を行います。工期は6月から3月頃を予定。一部ご不便をおかけする時期もありますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（担当：教育文化課 生涯学習係）

空気神社ライトアップ事業

400万円

財源…町の負担400万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

6月～8月の3か月間、神社・参道をフォトジェニック（写真映え）に彩る



【事業の概要】

6月～8月の3か月間、JR東日本との連携企画として空気神社のライトアップを行います。参道から神社まで約300mをフォトジェニック（写真映え）に彩り、夜間における新たな観光素材を創出します。

コロナ禍を契機として、「空気」への関心があらためて高まるとともに、カーボンニュートラル等の「グリーン政策」により、環境への関心も高まっています。これらを機に、その先進的な象徴である「空気神社」の存在と意義を多方面に広めます。

（担当：総合産業課 商工観光係）

未満児家庭保育応援金事業

360万円

財源…町の負担360万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

3歳未満児を在宅で保育する家庭に対し、子ども一人につき1か月1万円を給付



【事業の概要】

3歳未満の子どもを在宅で保育する家庭に対し、令和4年度から新たに応援金を交付します。

家庭で保育する家庭の経済的支援、また、乳幼児との愛着形成の深化が目的。金額は1か月あたり子ども一人につき1万円で、年間最大で12万円となります。保育者については、両親のほか、祖父母等も交付の対象となります。

（担当：健康福祉課 子育て支援係）

スマート農業化支援事業

275万円

財源…国の補助金137万円、町の負担138万円（一般財源）

電動アシスト剪定ハサミ、自動草刈機、パワーアシストスーツの購入に対し補助



果樹園内で稼働する自動草刈り機

【事業の概要】

ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、農業の省力化・軽労化や高品質生産を推進する「スマート農業」。町は令和元年度から電動アシスト剪定ハサミ整備支援事業を実施してきましたが、このほど自動草刈機、パワーアシストスーツを対象に加え、制度をリニューアルしました。

農業従事者の高齢化や後継者不足により農家数が減少しても、生産面積・収量を維持できるよう、意欲のある農家をサポートします。補助の詳しい内容についてはお問い合わせください。（担当：農林振興課 農政係）

消防団拠点施設整備事業

3,700万円

財源…町の借金3,700万円（緊急防災・減災事業債）

コロナ禍で備蓄品が増加。第2備蓄倉庫を併設した消防指令車等の車庫を整備



【事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、災害時の避難所に必要な機能や物品が著しく増加し、かつ、多様化していることを受け、第2備蓄倉庫を併設した消防指令車等の車庫を整備します。

建物は鉄骨造平屋建で延床面積は171.75㎡。場所は役場西側駐車場の北西角付近を予定し、車庫部分には、消防指令車、役場消防部ポンプ自動車、資機材車の3台を格納。消防団拠点施設として、役場敷地内に機能および車両を集約することで危機管理、消防業務の効率化を図ります。

（担当：総務課 危機管理対策室 危機管理環境係）

子宮頸がんワクチン接種事業

600万円

財源…町の負担600万円（一般財源）

国の方針見直しに伴い、積極勧奨を再開。過去に接種機会を逃した方も対象に



【事業の概要】

平成25年6月から積極的勧奨が差し控えられていた子宮頸がんワクチンについて、国の方針が見直されたことから、積極勧奨を再開します。

小学6年生から高校1年生までの「定期接種」対象者のほか、積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した高校2年生から25歳までの世代も対象。副反応等のリスク等についても、適切な情報提供を行いながら、接種を推進します。

（担当：健康福祉課 保健医療係）

ミズノ株式会社とのまちづくり提携事業 521万円

財源…町の負担521万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

「歩くことによる健康づくり」を目指し、「ウォーキング普及事業」に着手



歩き方を分析する歩行測定の体験会

【事業の概要】

ミズノ株式会社とのまちづくり提携事業は、令和4年度で7年目となります。

今年度より「歩くことによる健康づくり」を目指し、複数年事業となる「ウォーキング普及事業」に着手します。

また、子どもたちの体力・競技力向上や、プロアスリートとの交流を通じたスポーツの振興事業等も継続。引き続き多方面で事業を展開していきます。

（担当：政策推進課 広報ブランド係）

町道今平大船木線復旧事業

3億3,400万円

財源…国の負担金2億8,413万円、町の借金（災害復旧事業債）4,480万円、町の負担（一般財源）507万円



至大船木区

【事業の概要】

令和2年7月の豪雨で大規模に崩落した、町道今平大船木線の復旧工事を実施します。

当初は昨年度に予定していましたが、令和3年4月の雪解けで崩落部分の被害が拡大し、再度地質調査や測量が必要となったことから、1年先送りとなりました。今平区と大船木区を結ぶ生活道路ですので、早期復旧を目指します。（担当：建設水道課 整備係）

町道大町西原線歩道整備事業

1,100万円

財源…町の借金1,100万円（過疎債）



至西原区

【事業の概要】

大町区と西原区を結び、小学生の通学路にもなっている町道大町西原線について、道幅を広げ、歩道を設置します。

令和4年度は工事のための設計を行い、令和5年度以降、用地取得、そして工事等、年次計画により進めていく予定。完成は令和8年頃を見込んでいます。

（担当：建設水道課 整備係）

ICT教育の推進

668万円

財源…町の負担668万円（一般財源）



電子黒板を使ったICT教育

【事業の概要】

学校内のネットワーク環境とともに、小中学生に1人1台の学習用タブレット端末を整備する国のGIGAスクール事業。当町でも令和2年度までに整備が完了したことを受け、ICT（情報通信技術）教育を加速させています。令和4年度は、各小中学校にICT支援員を派遣するとともに、児童・生徒の学習意欲や理解力の向上に資する電子黒板を1台ずつ整備します。（担当：教育文化課 学校教育係）

地域循環型経済構想策定事業

420万円

財源…町の負担420万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）



【事業の概要】

町民の所得向上や就労機会の確保につなげる新たな事業として、りんごとワインに続く朝日町の新たな魅力・柱を打ち出すことができないか、実現可能性を調査します。主にエネルギーの地産地消、施設園芸の推進、農業法人誘致など多角的に検討していきます。

（担当：政策推進課 総合政策係）

堆肥センター大規模改修事業

600万円

財源…町の負担600万円（朝日堆肥センター維持管理等基金）



【事業の概要】

大暮山鹿路（すがろ）地区にある堆肥センターについて、稼働開始から18年が経過し老朽化が著しいことから、主たる設備のかくはん機を更新します。

（担当：農林振興課 農政係）

公所会館解体事業

1,200万円

財源…国の補助金338万円、町の負担862万円（町有施設整備・管理基金）



【事業の概要】

耐震基準を満たしておらず、老朽化が進む建物を解体します。

解体後の跡地は舗装し、役場および町民体育館の駐車場として活用します。

（担当：総務課 財務係）

病院事業会計

町立病院内施設整備事業

510万円

財源…病院の借金（過疎債・病院事業債）各250万円、町の負担5万円、病院の負担5万円



【事業の概要】

町立病院の病棟は昭和60、61年、診療棟は平成9、10年竣工で、計画的に保守改修を行っています。

令和4年度については、病棟、給食棟の外壁改修に向けた設計を行い、令和5年度に工事を実施します。

（担当：町立病院 医事庶務係）

水道事業会計

水道管の耐震化・長寿命化

6,200万円

財源…町（水道事業会計）の負担6,200万円



写真はイメージです。

【事業の概要】

町は平成26年度に策定した「水道事業アセットマネジメント（資産管理）」に基づき、計画的に水道施設の施設・設備の更新を行っています。令和4年度は、橋梁への水道管布設替（添架）工事を行います。

・道陸橋添架管布設工 4,200万円

・要害橋添架管布設工 2,000万円

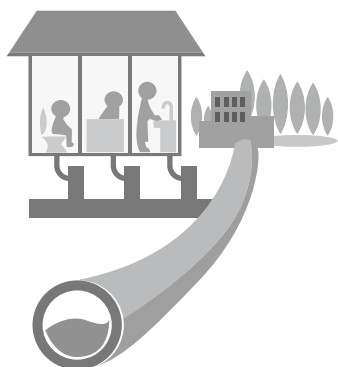
（担当：建設水道課 上下水道係）

集落排水事業特別会計

公営企業会計適用事業

1,500万円

財源…町（集落排水事業会計）の借金1,500万円（公営企業会計適用事業債）



【事業の概要】

資産を含む経営状況を比較可能な形で的確に把握し、財務マネジメントを向上させるため、令和4年度から2か年事業で公営企業会計の適用を進めます。

事業費は2か年で2,200万円を予定。国が要請する令和5年度中の完了を目指します。

（担当：建設水道課 上下水道係）

令和 4 年度

基本目標別主要施策・予算

令和 4 年度の主な施策・予算を、第 6 次朝日町総合発展計画で掲げる 5 つの基本目標と、それを実現させるための「まちの経営方針」に沿って紹介いたします。

1. 技・モノ・心が受け継がれ、人が集まる



改修工事が進む大沢口ため池

中郷地区ため池改修工事負担金(大沢口洪水吐工事) 770万円

財源…町の借金(公共事業等債)690万円、町の負担80万円(一般財源)

宮宿中郷地区の農業用水を確保するため池については、老朽化に伴い平成26年度から県の事業として改修工事が進められており、町は工事費の一部を負担金として支出しています。令和3年度には大沢口ため池(前田沢)に着手。完了は令和5年度の予定です。

(担当:農林振興課 事業係)



有害鳥獣対策

326万円

財源…県の補助金99万円、町の負担227万円

クマやイノシシなどによる有害鳥獣から農作物を守るため、被害防除や捕獲事業等の取組を支援します。

(担当:農林振興課 事業係)

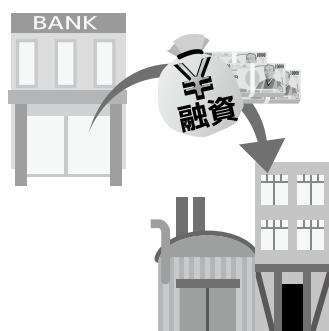


企業の積極的な設備投資を促進するための取組み 888万円

財源…町の負担(日本一りんごのふるさとづくり基金838万円、一般財源50万円)

町外からの企業誘致や町内企業の積極的な設備投資を促進し、町内産業の持続的発展を図るため、産業立地促進奨励金などを通じた企業支援に取り組みます。

(担当:総合産業課 商工観光係)



中小企業緊急災害等対策利子補給 667万円

財源…県の補助金333万円、町の負担334万円(新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金)

コロナ禍により事業所が令和2年度に受けた融資の利子については県・町・金融機関がそれぞれ負担し、実質無利子化しています。このうち、町負担分については、令和2年度に創設した「新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金」から毎年度必要な額を取崩し対応します。

(担当:総合産業課 商工観光係)

まち【産業経済】

総額 3 億1,604万円

(1) 農業

(単位：万円)

◇朝日町ブランドの代表である高品質なりんごづくりを続ける		
高品質りんご生産緊急対策補助		250
りんご輸出拡大対策補助		250
◇多様な果樹のまちとしての魅力を発信する		
チャレンジファーマー応援事業		150
ワイン用ぶどう栽培支援事業		50
◇低コストで多様な農産品づくりを展開する		
施設園芸用ハウス等整備補助		100
◇安心して農業を続けていける人づくりを進める		
農業次世代人材投資事業		1,800
認定農業者農機具等支援事業		250
スマート農業化支援事業	新規	275
◇将来性ある生産体制のための環境を整備する		
有害鳥獣対策		326
中郷地区ため池改修工事負担金		770
公団分収林間伐委託	新規	1,100
堆肥センター大規模改修事業	新規	600

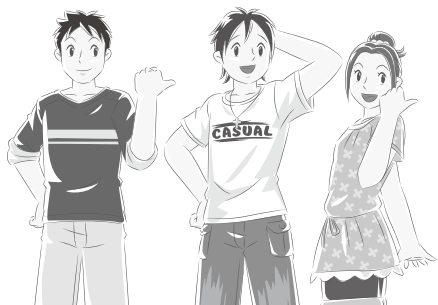
(2) 仕事の確保（商工業）

◇今ある企業や事業所のものづくりを応援する		
企業の積極的な設備投資を促進するための取組み		888
◇今ある商店等の活性化を促す		
商工会指導事業、商店街活性化補助（商店街魅力創出チャレンジ事業ほか）		700
◇やりたい仕事を始められる環境を整える		
創業支援対策		400
◇新型コロナウイルス対策（事業所支援）		
中小企業緊急災害等対策利子補給		667

(3) 交流・観光

◇既存観光資源を整備し、活用を促進する		
Asahi自然観、道の駅あさひまち、りんご温泉の管理運営		7,654
◇既存団体との連携による観光振興		
町観光協会の運営		1,425
空気神社ライトアップ事業	新規	400
◇広域連携により交流・観光の拡充とインバウンド推進につなげる		
インバウンド推進事業		1,332
◇新生活様式による各イベントの開催		
空気まつり、溪流まつり、ワインまつり、産業まつり負担金		510

2. ふるさとを愛し、みんなが学び合い、



高校生以下の医療費完全無料化 2,527万円

財源…県の補助626万円、町の借金1,200万円（過疎債）、町の負担701万円

町は長年中学生以下の医療費無料化を実施してきましたが、令和元年度からその対象を高校生以下まで拡大しています。令和4年度についても継続し、子育て世代のさらなる負担軽減を図ります。

（担当：健康福祉課 子育て支援係）

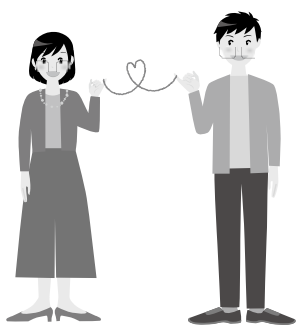


出産支援給付金事業 245万円

財源…国県の補助金203万円、町の負担42万円（一般財源）

出産に関わる費用の支援として、令和3年度に県事業で創設された出産支援給付金について、令和4年度から県の補助金（58,000円）に、町独自に上乗せし、新生児1人につき7万円を給付します。

（担当：健康福祉課 保健医療係）



結婚支援事業（結婚新生活応援事業ほか） 318万円

財源…県の補助60万円、町の負担238万円（一般財源）、その他20万円

出会いの場創出のためのイベントや相談会、仲人制度等を通じて、結婚を希望する方を応援します。また、新婚夫婦を応援する補助として以下のうち1つに申請いただけます。①結婚に伴う引越し費用や住居費（新築・リフォーム・家賃）補助（最大60万）②10万円の商品券の交付

（担当：政策推進課 総合政策係）



朝日町コミュニティスクールの推進 434万円

財源…県の補助金231万円、町の負担203万円（一般財源）

家庭・地域・学校が協働し、きらりと光る学校・地域を目指す「コミュニティスクール」事業の推進のため、「地域活動推進員」を配置します。2名体制で小学校3校、中学校1校をカバーし、地域の素材を活用した探究型学習のさらなる深化を図ります。

（担当：教育文化課 学校教育係）

育て合うまち【教育文化】 総額 6億3,189万円

(1) 子育て

(単位：万円)

◇出産・子育てに携わる人の健康を確保し、不安・負担を軽減する		
高校生以下の医療費完全無料化	増額	2,527
妊婦健康診査		306
産後ケア事業		50
◇地域ぐるみで子どもを健やかに育む居場所を作る		
保育園等運営委託（あさひ保育園、子育て支援センター、放課後児童クラブ）		2億452
保育士等处遇改善事業補助金	新規	200
緑が丘公園整備事業（案内看板設置）		500
◇子どもや家庭を持つことの大切さを伝える		
出産祝品の進呈		125
未満児家庭保育応援金	新規	360
出産支援給付金	新規	245
◇結婚に向けた意識の醸成や出会いを増やして若者を応援する		
結婚支援事業（結婚新生活応援事業ほか）	拡充	318

(2) 学校教育

◇家庭・地域・学校が協働し、きらりとひかる学校・地域を作る		
朝日町コミュニティスクールの推進		434
◇社会の変化に対応し、未来を拓く確かな力を持つ子どもを育てる		
学習生活指導員、読書活動推進員、部活動支援員の配置		2,137
中学生海外派遣事業		130
中学生の高校受験対策（あさひ英語、数学学習会の開催）		61
英語力向上の支援（ALTの配置等）		540
小学校合同修学旅行外国語研修、中学生修学旅行外国語研修補助		125
ICT教育の推進	増額	308
◇安全安心な教育環境づくりを推進する		
宮宿小・西五百川小防犯対策	新規	94
朝日中教室改修工事	新規	400

(3) 生涯学習（スポーツ・文化）

◇潤いのある生活を楽しむ生涯学習を推進する		
エコミュージアム推進事業		214
自治公民館の改修支援		499
創遊館の大規模改修（建築改修、舞台設備更新）	増額	1億9,760
秋葉山交遊館屋根塗装	新規	500
◇心身の健康を育む生涯スポーツを推進する		
総合型地域スポーツクラブの運営		167
ミズノ株式会社とのまちづくり推進事業	増額	521

3. いつまでも健康に暮らせる、思いやり



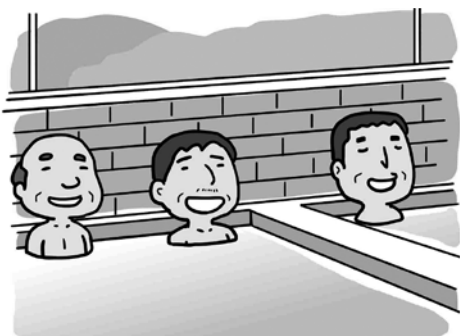
朝日町立病院運営補助

3億600万円

財源…町の負担3億600万円

地域医療の拠点である町立病院の経営安定のため、国の基準に基づき、一般会計から病院事業会計へ補助を行います。

その内訳は医師派遣に要する経費や不採算地区病院の運営に要する経費など。費用の多くは地方交付税などにより国から支援を受けています。
(担当:総務課 財務係)



健康づくり応援事業（入浴施設利用補助） 230万円

財源…町の負担230万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

町は令和2年度からりんご温泉、いもがわ温泉、朝日鉱泉の利用を補助金で支援しています。このうちりんご温泉の回数券については、11枚綴りのものを2,000円で購入でき、通常1回300円の料金が200円以下で利用可能。身近な温泉を通じた健康づくりを応援するとともに、町内入浴施設の利用を促進します。（担当：健康福祉課 保健医療係）



障害児等通学・通所支援等

2,986万円

財源…国の補助金1,274万円、県の補助金684万円、町の負担998万円（一般財源）、その他30万円

障がいを持った子どもや家族が安心して暮らせるよう、町は特別支援学校への通学タクシー運行や通学補助、放課後児童デイサービス利用に対する支援等を実施し、経済的負担の軽減を図っています。

令和3年度からは、小学生の通学タクシーに添乗員を同乗させ、さらなる安心・安全の向上に努めています。（担当：健康福祉課 福祉係）



地域福祉交流施設「すぽっと」の運営 150万円

財源…町の負担150万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

町は、高齢者等が地域のつながりの中で、気軽に集まって楽しく過ごすことができる活動を応援しています。令和3年度に開設した地域福祉交流施設「すぽっと」については、開館日を週3日から5日に増やし、引きこもりがちになる高齢者等の居場所づくり、生きがいづくりを支援します。（担当：健康福祉課 福祉係）

あふれるまち【健康福祉】 総額 9億3,649万円

(1) 健康増進

(単位：万円)

◇健康づくりへの意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を防ぐ

心と身体健康づくりの推進（各種健康教室、相談の実施）	1,399
病気の早期発見に向けた取り組み（各種検診の実施）	2,500
朝日町健康づくり応援事業（入浴施設利用補助）	増額 230
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1,648

(2) 医療・福祉

◇充実した医療サービスが受けられる環境を整える

朝日町立病院運営補助（地域医療基盤の維持・強化）	3億600
重度心身障がい児者医療給付事業	2,047

◇高齢者、障がい者等が居場所づくりや相談体制を通してお互いに支え合う

高齢者・障がい者の居場所づくり、生きがいづくり	2,082
障がい児通学、通所支援等	増額 2,986
地域福祉交流施設「すぽと」の運営	増額 150
元気クラブ活動支援	136
高齢者生産活動センターの運営	767

◇高齢者、障がい者等が仕事を通して生きがいを持って暮らす

高齢者の就労の場の確保	145
-------------	-----

◇高齢者が安心して暮らせる町民ニーズに沿った介護環境を提供する

要介護1・2の認定者に対する紙おむつ支給事業	257
介護保険事業の円滑な運営	1億9,201

PCR 検査が無料で受けられます

【対象】

新型コロナウイルス感染症の感染を疑うような症状のない方で、濃厚接触者などに該当せず、感染に対する不安がある町民の方

【検査実施期間】 令和4年4月1日～令和5年3月31日

【費用】 PCR 検査に係る費用について、無料で受けることができます。

※検査結果の証明書などの発行は、別途自己負担になります。

【検査実施医療機関】 ◆以下の町内医療機関で行います。

安達医院（67-2226） 多田医院（67-2330） 朝日町立病院（67-2125）
（手続き）

①検査を希望する方は、あらかじめ電話で医療機関に申込みを行います。

受診方法等については、医療機関の指示に従ってください。

②検査当日は、本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）を医療機関に提示してください。

※ご不明な点等は、健康福祉課にご相談下さい。



※検査方法は医療機関により異なります。

担当：健康福祉課保健医療係 電話：67-2116

4. 豊かな自然を守り、安全で快適な住み



改良が進む町道赤釜線

町道の新設改良

(一本松線、赤釜線、今平線、大町西原線ほか) **1億2,030万円**

財源…国の補助1,900万円、町の借金9,050万円(過疎債等)、町の負担1,080万円

町道整備のうち、令和4年度は一本松線の新設、赤釜線、今平線の改良、大町西原線の歩道設置等に重点的に取り組みます。

今平線は令和4年度、一本松線、赤釜線は令和5年度、大町西原線は令和8年度に完了予定です。

(担当：建設水道課 整備係)



空家の利活用と適正管理

1,447万円

財源…国の補助172万円、町の負担1,275万円(日本一りんごのふるさとづくり基金625万円、一般財源650万円)

年々深刻化する空家対策として、空家バンクや改修補助金等で利用を促進するほか、空家解体補助を通じ、利活用と適正管理を推進します。空家バンクの運営業務は、町外からの移住相談窓口も兼ねた業務として令和元年度から町内の民間事業者に委託しています。

(担当：総務課 危機管理係、建設水道課 整備係)



2次交通移動支援事業実証実験

48万円

財源…町の負担48万円(一般財源)

現在、町にある公共交通機関は山交バスのほか、町で運営しているデマンドタクシーがありますが、町立病院など町中心部を訪れた方が買い物等で2次的な目的地へ移動する場合、歩行距離が長くなることから、今後の支援に向けた実証実験を行います。

(担当：政策推進課 地域振興係)



消防指令車更新事業

800万円

財源…町の借金800万円(緊急防災・減災事業債)

平成14年度に購入した現車両を更新します。

更新車両についてはバンタイプを予定。災害現場で使用する資機材を搭載し、有事の際迅速な対応を行います。

(担当：総務課 危機管理対策室 危機管理環境係)

よいまち【生活環境】

総額 7億7,824万円

(1) 住まい

(単位：万円)

◇住みやすく多様な住環境整備のための支援を行う	
持家住宅支援事業	3,336
町営住宅の管理	1,831
◇空家の利活用と適正管理	
空家の利活用を促進する報償金・補助金、空家解体補助、空家バンクの運営委託	1,447

(2) 交通

◇子どもから高齢者まで便利に出かけられる交通手段を充実する	
山形市直行バス運行事業	1,437
デマンド型交通事業	2,142
町民の足確保対策（高校生・高齢者の山交バス利用負担軽減、利便性アップ等）	880
2次交通移動支援事業実証実験	新規 48
◇道路環境の整備等により安全安心な交通環境をつくる	
交通安全の推進（高齢者免許返納助成、カーブミラー設置等）	130
町道の新設改良（一本松線、赤釜線、今平線、大町西原線ほか）	1億2,030
舗装修繕計画に基づく修繕	2,930
町道今平大船木線災害復旧	新規 3億3,400

(3) 環境

◇環境に対する意識を高めて、きれいな水と空気と緑を守る	
空気のふるさと推進事業	239
合併処理浄化槽の設置による水環境の保全	844
豊かな森林環境を守る取り組み	277
猫の不妊・去勢手術費補助金	新規 16
◇自然エネルギーの導入促進による資源の有効利用を推進する	
太陽光発電設備、木質バイオマス燃焼機器導入補助	110

(4) 防災

◇安心して暮らせる地域の防災体制を構築する	
消火栓設置工事	900
自主防災組織活動支援	増額 384
消防団各部運営支援金（消防団員の待遇改善）	320
◇災害に備える基盤整備を進める	
備蓄品購入（液体ミルク、保存水等）	50
消防団拠点施設整備事業	新規 3,700
消防指令車更新事業	新規 800
ホース乾燥柱整備事業（3-1）	新規 350
◇地域が協力し、雪を苦にしないで暮らす	
地域活躍応援事業（雪対策等）	510

5. 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで



地域づくりを話し合う場の確保と集落支援員等の配置 425万円

財源…町の負担425万円（一般財源）

町内55集落、55色の地域づくりを支援するため、集落支援員を配置します。地域づくりの第一歩は、そこに住む人たちの話し合いから。支援員とともに地域の魅力や悩み等を話し合うことで長所を伸ばすとともに短所を補う糸口を探り、地域づくりを支援します。

（担当：政策推進課 地域振興係）



地域活躍応援事業 1,215万円

財源…町の負担1,215万円（一般財源）

地域の創意と工夫を生かした自治活動（雪対策、草対策含む）を交付金等で応援します。

令和3年度から世帯数の要件を緩和し、小規模集落の整備事業補助率を引き上げています。

（担当：政策推進課 地域振興係）



基金を活用した事業（古民家マルシェ「すんたく市」）

志藤六郎村おこし基金事業 245万円

財源…町の負担245万円（志藤六郎村おこし基金及び利子241万円、一般財源4万円）

町内栗木沢出身の名誉町民・故志藤六郎氏から、平成4年にいただいた寄付金（1億円）を原資として積み立てた基金を有効活用し、町を元気にする多様な取り組みについて、ハード、ソフト両面から支援します。

（担当：政策推進課 地域振興係）



定住、U/Iターン対策 840万円

財源…国の補助金30万円、県の補助金80万円、町の負担707万円（日本一りんどふるさとづくり基金200万円、一般財源507万円）、その他23万円

移住者や関係人口を増やすための新たな仕組みとして、「移住者引越し補助金」や「暮らし体験・移住希望者受入れ事業補助金」を創設します。新たな施策の情報発信や移住希望者のコーディネートは、地域おこし協力隊の「移住交流推進員」「つながり創出推進員」が担い、移住促進策を多方面から展開します。（担当：政策推進課 地域振興係）

支え合うまち【地域づくり】

総額4,870万円

(1) 地区づくり活動

(単位：万円)

◇地区の強みと弱みを分析し、地区の役割を明確にする地域づくり推進事業	
地域づくりを話し合う場の確保と集落支援員等の配置	425
◇地域の意欲を後押しする財政支援を行う	
地域活躍応援事業	1,215
◇地区同士の連携を推進する	
区の枠組みを超えた地域づくりに対する補助	25

(2) まちのにぎわい・元気づくり

◇移住を受け入れる環境を作り、地区の活力を高める	
朝日町暮らし体験施設「松本亭」を核とした関係人口の創出	869
定住、UIJ ターン対策（朝日町暮らし体験補助、若者移住・定住支援事業など）	拡充 840
同窓会助成事業	20
地域循環型経済構想策定業務	新規 420
◇地域課題を解決するための仕組みを作り、参加することでつながりを再構築する	
志藤六郎村おこし基金事業	245

まちのにぎわい・元気づくりを担う助っ人たち

まちのにぎわい、元気づくりを進めるにあたり、町は様々な分野に特化した「助っ人」を委嘱したり、業務を委託したりしています。各分野の専門家が相互に連携しながら、地域づくりや移住・交流、情報発信等の業務に従事。令和4年度の人員、役割等については以下のとおりです。

■朝日町情報交流総合アドバイザー 佐藤 恒平 氏

朝日町の認知に特化した情報発信や町民との協力による話題づくりなど、桃色ウサビの運用を主軸に、町の情報を多角的に発信。町のPRとイメージアップ役を担う。

■移住コンシェルジュ

(一社) 希望活動醸成機構 代表 阪野 正義 氏
空き家バンクの運用と移住希望者の「住まい」に関する支援を担う。あわせて、移住希望者の各種コーディネートや先輩移住者としての立場から朝日町の暮らしをPRする。



■集落支援員 (今後採用予定)

地区の現状を把握した上で課題を整理し、自治活動を進めるための計画策定の手助けを担う。

■移住交流推進員 鈴木 公人 氏

ゲストハウス松本亭一農舎（常盤）の管理・運営役。朝日町らしい田舎暮らしを提供し、町への移住を促進する。また、松本亭利用者との交流による町の活性化を図る。

■つながり創出推進員

田岡 知曉 氏

町に来訪したい関係人口の獲得と案内、企画立案を担当。来訪に特化した発信と案内役を担い、町に来訪を希望し、滞在する人の獲得を行う。

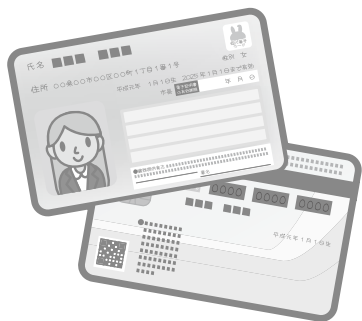
町民と行政が相互に信頼できるまち



第6次朝日町総合発展計画中間見直し 268万円

財源…町の負担268万円（一般財源）

町の最上位計画の「第6次朝日町総合発展計画」については、平成30年度から令和9年度までの10年間を期間としており、令和5年度から折り返しの後期5年間となります。令和4年度はその前年にあたることから、計画の中間見直しを実施し、前期5年間の社会情勢等を踏まえた内容に更新します。（担当：政策推進課 総合政策係）



デジタル基盤改修事業 1,101万円

財源……国の補助金550万円、町の負担551万円（一般財源）

マイナンバーカードを使って、子育てや介護に関するオンライン申請を可能にするためのシステムを構築します。

（担当：政策推進課 広報ブランド係）

..



寄付者に対し寄付金の使いみちを紹介する「朝日町ふるさと通信」

ふるさと納税

町はふるさと納税でいただいた寄付金を「日本一りんごのふるさとづくり基金」に積立て、次年度以降の事業の財源として活用しています。

寄付受入額と事業充当額の推移は次のとおりです。

（担当：政策推進課 広報ブランド係）

■寄付金額（基金積立額）と取崩し額、年度末残高の推移（単位：万円）

	20～27（合計）	28	29	30	R1	R2	R3	R4
寄付金額（基金積立額）	8,716	9,716	9,724	9,778	1億3,627	1億3,067	1億645	1億1,000
事業充当額（取崩し額）	196	5,700	8,103	8,519	8,973	1億3,300	1億4,400	1億4,500
年度末残高	8,877	1億2,536	1億4,157	1億5,416	2億70	1億9,837	1億6,082	1億2,582

※年度末残高＝前年度末残高＋寄付金額（基金積立額）－事業充当額（取崩額）、R3～R4年度は見込額、ほかは決算額。

【まちの経営方針】

総額 3億969万円

(1) 町民と行政の協働

(単位：万円)

◇町民が主役となり、温かみのある行政運営を行なう

第6次朝日町総合発展計画中間見直し	新規	268
町民に親しみをもたれる役場づくりプロジェクト	増額	173

◇地域で活動する人材を育成する

つながりで育てる人材育成プロジェクト		140
--------------------	--	-----

(2) 行財政経営

◇歳入の確保と効率的な歳出執行を推進する

役場・開発センター大規模改修	新規	1,500
公所会館の解体と跡地舗装	新規	1,200
ふるさと納税推進事業		1億8,405

(3) 高度情報化・広聴

◇情報発信などに新たな技術等を活用し、暮らしを便利にする

デジタル基盤改修事業（自治体オンライン手続推進事業）		1,101
ホームページ改修（LINEとの連携機能追加等）		176
テレビ難視聴対策補助金		350

..

令和4年度基金活用事業

総額 1億4,500万円

朝日町のふるさと納税は使い道を6種類のメニューから選ぶことができます。いただいた寄付金を元にして令和4年度取り組む事業の総額は1億4,500万円。その一例を紹介いたします。

◆りんごとワインの里の産業・観光	3,890万円
・認定農業者農機具等支援事業	250万円
・創業支援事業	400万円
・空気神社ライトアップ事業	400万円

◆思いやりあふれる健康な暮らし	1,277万円
・朝日町健康づくり応援事業	230万円
・高齢者生産活動センターの運営	767万円
・金婚式、白寿、米寿等敬老事業	130万円

◆つながりを大切にしたい地域づくり	639万円
・NEWアクション事業補助金	140万円
・自治公民館整備事業補助	499万円

◆ふるさとを愛し学び合う暮らし	3,424万円
・宮宿谷地間路線バス利用補助	314万円
・全国大会等激励金、部活動補助	210万円
・未満児家庭保育応援金	360万円

◆自然と共生する安心な暮らし	1,452万円
・自主防災施設整備事業補助	384万円
・地域循環型経済構想策定業務	420万円
・高齢者等免許返納事業	80万円

◆町長にお任せ事業	3,818万円
・産業立地促進奨励金	838万円
・ミズノ株式会社とのまちづくり提携	521万円

予算・決算等資料

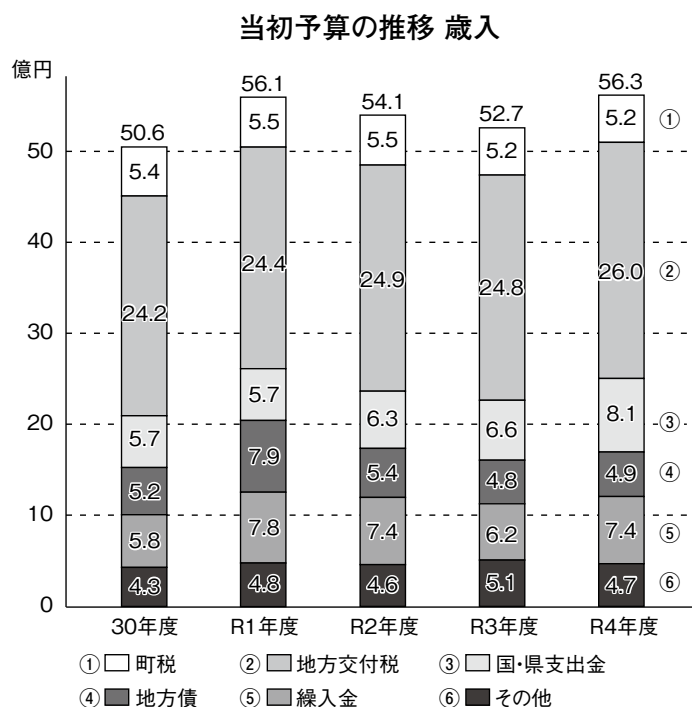
一般会計予算額（決算額）の推移

1. 一般会計当初予算の推移・概要

○令和4年度予算規模 **56億3,000万円**
(前年度比較3億6,000万円、6.8%の増)

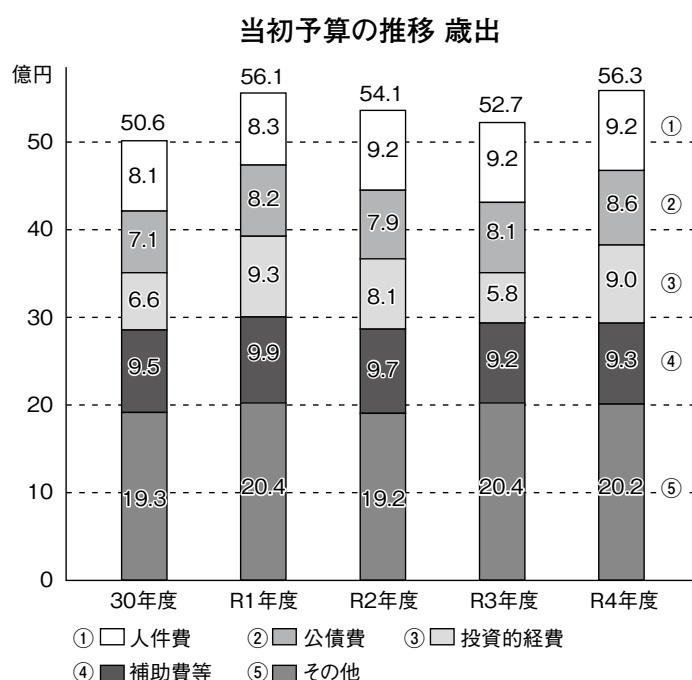
(1) 歳入の特徴

- ①町税：前年度と同水準
- ②地方交付税：地域社会再生事業費、地域デジタル社会推進費等の増
- ③国県支出金：公共土木災害復旧事業負担金（町道今平大船木線分）の増
- ④地方債：前年度と同水準
- ⑤繰入金：公債費の増に伴う、(償還財源となる) 財政調整基金繰入金の増
- ⑥その他：旧大平橋解体事業の完了に伴う白鷹町からの負担金の減



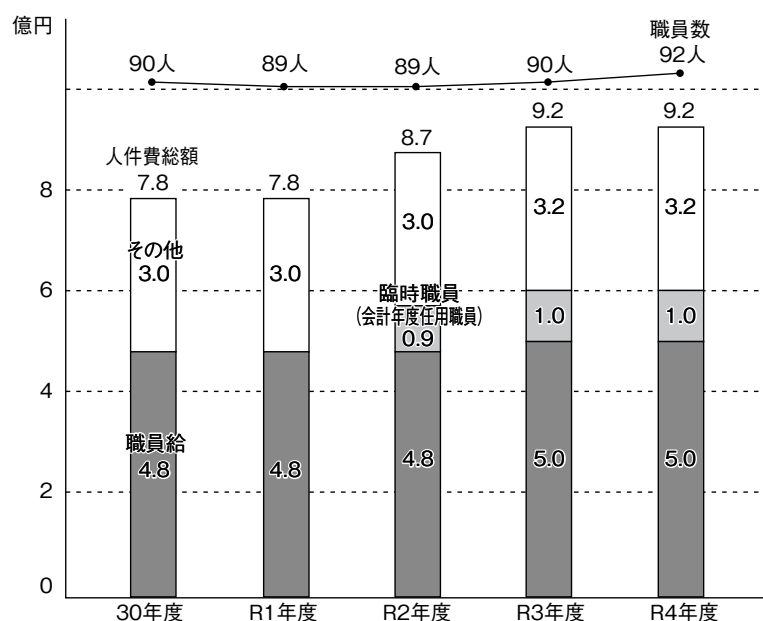
(2) 歳出の特徴

- ①人件費：前年度と同水準
- ②公債費：近年の大型事業実施による償還金元金の増
- ③投資的経費：創遊館大規模改修事業、町道今平大船木線災害復旧事業、消防団拠点施設整備事業等に伴う増
- ④補助費等：前年度と同水準
- ⑤その他：旧大平橋解体事業の完了に伴う物件費の減



※人件費について、令和2年度からの大幅増は国の制度改正により、これまで物件費に計上していた臨時職員（会計年度任用職員）の給与を人件費に計上替えしたことが要因です。

2. 人件費、職員給、職員数の状況



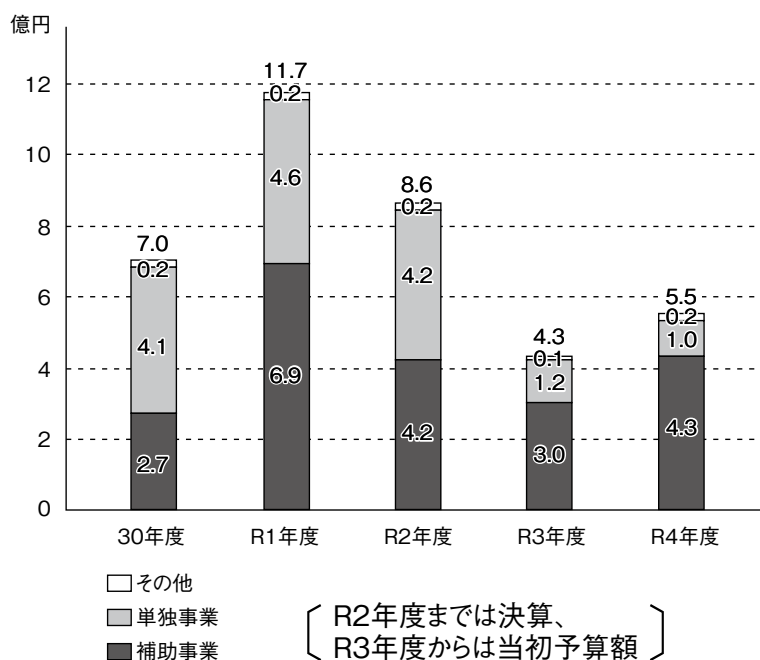
近年、職員の世代交代が進み平均年齢が低くなったことから、人件費、職員給の減少が続いています。

令和2年度からの大幅増は国の制度改正により、これまで物件費に計上していた臨時職員（会計年度任用職員）の給与を人件費に計上替えしたことが要因です。

〔 R2年度までは決算、
R3年度からは当初予算額
職員数は各年度予算書より 〕

3. 普通建設事業（公共事業）の状況

普通建設事業の推移



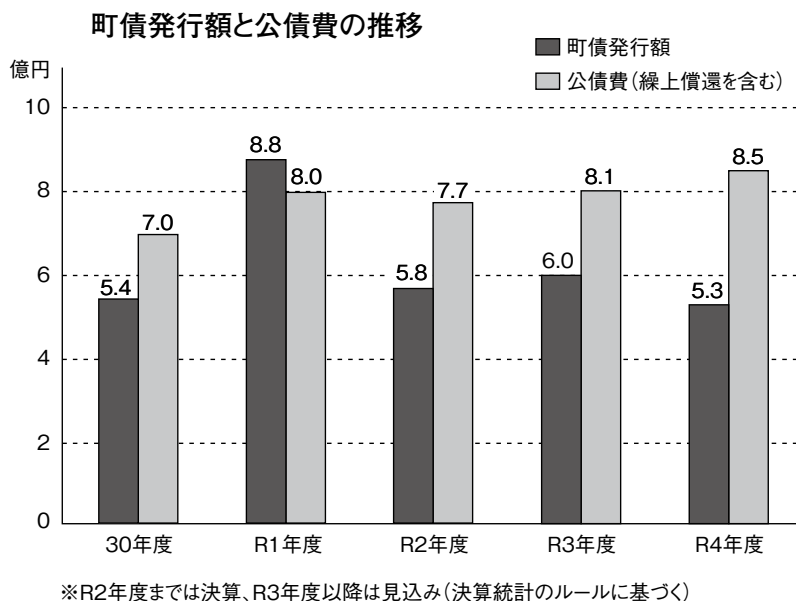
平成20年度以降、あさひ保育園整備（20～21）、小学校体育館改築（22～24）、庁舎耐震化（23～24）、総合交流拠点（道の駅）整備（24～27）、防災行政無線整備（27）、和合地区都市再生整備事業（24～28）等の大型事業を断続的に実施してきました。

平成28年度以降、一時的に落ち着いたものの、令和元年度は小中学校エアコン整備事業や創遊館の大規模改修（空調設備）等を実施したことから事業費が膨らんでいます。

【令和4年度の主な事業】

- ・創遊館大規模改修事業 1億9,760万円
- ・消防団拠点施設整備事業 3,700万円
- ・町道一本松線新設事業 4,400万円
- ・町道今平線改良事業 3,400万円

4. 町債発行額と公債費の推移



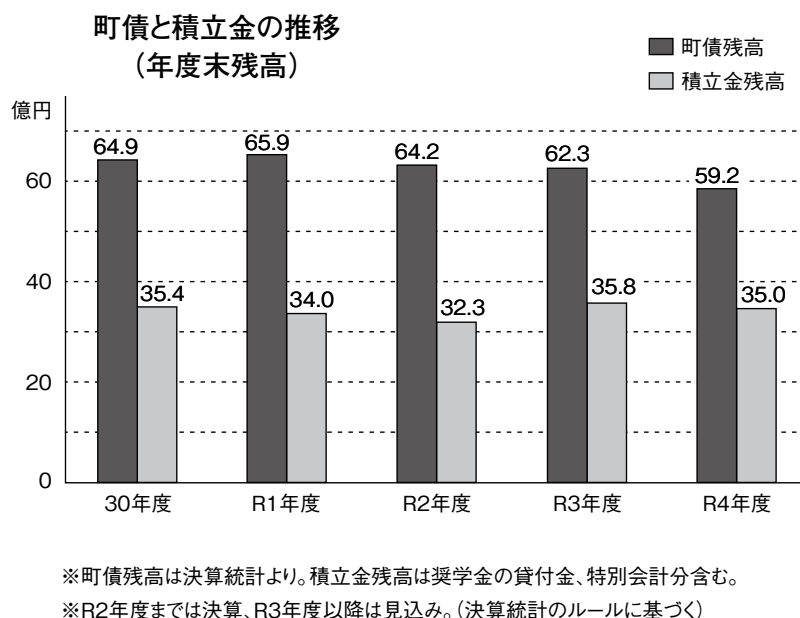
■町債発行額

町債は小中学校エアコン整備事業や創遊館大規模改修等を実施した令和元年度の発行額が多くなっています。今後も役場庁舎や観光施設の改修等が予定されていますが、積立金を有効活用しながら発行額の抑制に努めます。

■公債費

公債費は平成25年度から増加を続けています。あさひ保育園や小学校体育館改築、役場庁舎の耐震化等平成20年以降の大型建設事業借り入れた町債の償還によるものです。直近のピークは令和4年度の8億5,800万円で、以後も当面の間、7億円台が続く見通しです。

5. 町債残高と積立金残高の状況



■町債 (町の借金)

近年の推移をみると、65億円程度で高止まりしていることがわかります。近年の大型事業により多くのお金を借りたことが要因です。平成30年度の予算編成から、町債発行額は原則的に公債費の元金以下とする独自のルールを定め、残高の縮減に努めています。

■積立金 (町の貯金)

財政調整基金や町有施設整備・管理基金、また、ふるさと納税を原資とする日本一りんごのふるさとづくり基金等を適宜取り崩しながら町政運営にあたっています。

【令和4年度の主な基金活用事業】

- (1) 町有施設整備・管理基金
 - ・創遊館大規模改修事業 4,760万円
 - ・役場庁舎・開発センター大規模改修事業 1,500万円
- (2) 日本一りんごのふるさとづくり基金
 - ・空気神社ライトアップ事業 400万円
 - ・産業立地促進奨励金 838万円
 - ・ミズノ株式会社とのまちづくり提携事業 521万円

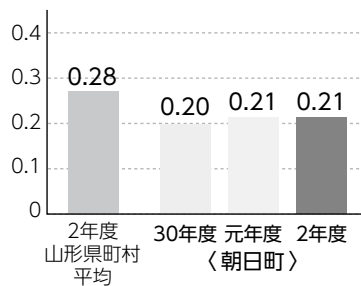
6. 財政指標で見る町の財政状況（令和2年度決算より）

町の財政状況は健全化判断比率※をはじめとした様々な指標により客観的に分析することができます。こうした指標を過去3年間の推移や県内町村との比較で分析します。

😊 … 良い
 😞 … 良くない

■ 財政力指数（自前の収入でやりくりできるか）

他自治体と比較して、当町は必要な経費を自主財源で賄える割合が低いことがわかります。町民税や固定資産税等の町税収入が少ないことが主な要因です。

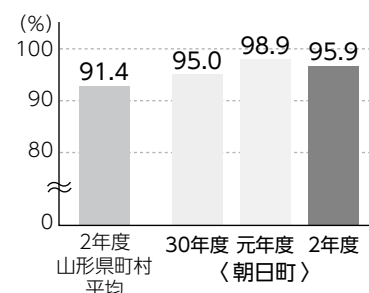


自治体経営に必要なお金を実際の収入で割った値（3カ年の平均値）で、数値が大きいほど余裕がある。



■ 経常収支比率（自由に使えるお金があるか）

昨年度から大きく改善しました。自由に使えるお金として算定される「臨時財政対策債」の発行額を増やしたことが主な要因です。

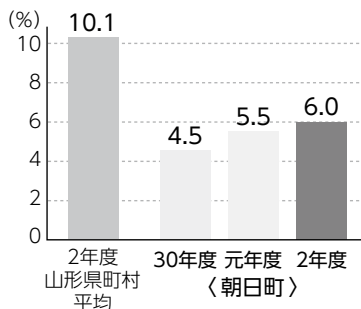


毎年度ある収入に対して、必ず行う支出の割合を示したものの。数値が低いほど柔軟に事業に対応できる。



■ 実質公債費比率（借金返済に窮していないか）

5年連続の上昇となったものの、良好な水準を維持しています。借金は増えているものの、返済費用の一部が地方交付税に算入される制度を有効活用しているためです。

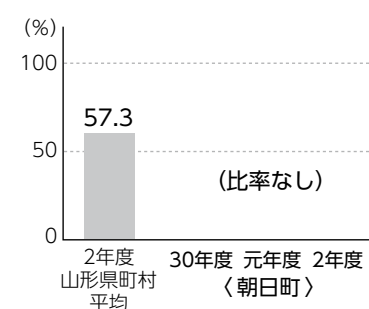


一般会計の公債費（借金返済費用）が重すぎないかを見る指標。3カ年の平均値で算定。数値が低いほど良好。



■ 将来負担比率（将来世代にツケを先延ばしにしていないか）

前年度に続き、比率はありません。借金等の将来負担額よりも貯金や将来地方交付税として算入が見込まれる金額の方が多いためです。



一般会計の町債（借金）や、将来支払う可能性のある他会計負担金の程度を指標化したもの。数値が低いほど良好。



※健全化判断比率… 実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標の総称。公営企業の経営健全度を表す資金不足比率とともに、毎年議会への報告と公表が義務付けられています。
 健全化判断比率のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率については県内すべての市町村で比率がありません。

まとめと 今後の取り組み

実質公債費比率、将来負担比率は健全段階を維持しているものの、道の駅整備や小中学校空調設備設置事業など近年の大型事業により公債費（借金返済費用）が増え、経常収支比率の上昇につながっています。

今後も、観光施設や役場庁舎等、主要公共施設の大規模改修が見込まれます。その実施に当たっては、各種基金の有効活用等で町債発行を抑制しながら健全財政の維持に努めていきます。

令和4年度 朝日町予算説明書

山形県朝日町